

## ＜第6章 読み込みデータ＞

### 6.1 本システムが読み込める処方データのフォーマット

本システムが読み込むことのできる処方データは、テキスト形式（CSV）で、内容は以下の表の通りです。

フィールド名	最大 byte 数	説明
(1) 患者フラグ	2	「PT」が基本。患者データが始まることのフラグ。p48 参照。
(2) 調剤日	8	YYYYMMDD（半角）。
(3) 受付番号	4	半角数字。空でも可。
(4) 診療コード	7	半角数字。初期設定は p43 付録 1、ユーザー登録は p16 参照。
(5) 患者 ID	10	半角数字。頭英字 1 文字でレイアウト選択可能。p13 参照。
(6) 患者名	28	指導せんは 20 バイト。お薬手帳は 28 バイト。
(7) 生年月日	8	YYYYMMDD（半角）。
(8) 性別	1	男は「M」、女は「F」。空の場合は「F」とみなす。
(9) 癌告知の有無	1	癌告知なしは「0」、ありは「1」
(10) 身長 [cm]	8	半角数字と「.」で構成された数値文字列。空でも可。
(11) 体重 [kg]	8	半角数字と「.」で構成された数値文字列。空でも可。
(12) 体表面積 [m <sup>2</sup> ]	8	半角数字と「.」で構成された数値文字列。空でも可。
(13) sCr[mg/dL]	8	半角数字と「.」で構成された数値文字列。空でも可。
(14) 未補正 eGFR[mL/min]	8	半角数字と「.」で構成された数値文字列。空でも可。
(15) eGFR[mL/min/1.73 m <sup>2</sup> ]	8	半角数字と「.」で構成された数値文字列。空でも可。
CR+LF *以下 (10) ～ (15) および CR(+LF) は処方薬剤数分の繰り返し		
(16) 薬剤フラグ	2	「DR」が常に入る。薬剤データが始まることのフラグ。
(17) 薬価コード	12	半角英字数字。個別 12 桁コード（YJ コード）。
(18) 1 日用量	4	半角数字。小数点あり可。外用、点眼、頓用は 1 回量。
(19) 剤形コード（印字用）	10	初期設定は p43 付録 2、ユーザー登録は p17 参照。
(20) 用法コード	10	初期設定は p43 付録 3 および 4、ユーザー登録は p18 参照。 空でも可。ただし、空の場合 1 日用量を 1 回用量として印字。
(21) 処方日数	3	半角数字。なお頓服、外用頓用は「回分」と印字。
CR+LF		
(22) メモフラグ	2	「ME」が常に入る。「患者さんへ」が始まるフラグ。
(23) 患者さんへ	120	空の場合は＜初期設定＞の文章が印字される。
CR+LF		
(24) 担当者フラグ	2	「DN」が常に入る。「担当者」が始まるフラグ。
(25) 担当者名	20	文字列。担当者名が印字される。
CR+LF		
(26) 処方医フラグ	2	「PD」が常に入る。「処方医」が始まるフラグ。
(27) 処方医名	20	文字列。お薬手帳に処方医名が印字される。
CR+LF		



### ◎ サンプルデータ：

例を以下に示しますが、CD-ROM 内にサンプルファイル (sample1.txt) がありますので、ご参照ください。  
「→」は「Tab」、「↓」は「CR+LF」、「□」はスペースを表します。実際にはコードですので、下記のように表示されません。

「sample1.txt」：

PT → 20010730 → 123 → 00101 → 234-567 → 八王子□太郎 → 19460929 → M → 0 ↓

DR → 2325002F2026 → 2 → T → 221 → 14 ↓

DR → 2189012M1029 → 1 → CP → 101 → 14 ↓

DR → 3961003F1028 → 6 → T → 221 → 14 ↓

DR → 3399100F1060 → 1 → T → 102 → 14 ↓

ME → 気になることがありましたら、遠慮なくご連絡下さい。お大事に。 ↓

DN → じほう□五郎 ↓

PD → 八王子□次郎 ↓

なお、用量、処方日数の数字では、頭に「0」が入っていても無視して印字します。

また、ファイル内のフィールド区切りは、「Tab」が標準ですが「,」（半角）でも読み込み可能です。

### ◎ レコードの単位とファイル名：

1 データファイルを 1 レコードとみなし、1 服薬指導せんを印字します。指導せんは A4 判固定で、複数頁にわたる場合は複数枚が頁番号付きで印字されます。

なお、データファイル名、拡張子は何でもかまいません。拡張子はなくてもかまいませんが、データ読み込みはファイル名順で行います。

### ◎ 読み込みデータの一時保存と削除：

本システムは、データを読み込むと自動的に読み込み先フォルダからテキストデータを削除します。

本システムのインストール先フォルダ「FukuSys¥Fus\_YYMM¥BSTP」フォルダの中に、読み込んだデータは一旦保存され、本システム終了時にエラーファイル以外は削除されます。

エラーファイルは必要に応じて手動で削除してください。

### ◎ 読み込みデータ「(1) 患者フラグ」の設定 (p48 付録 5 参照)：

- ・「NP」⇒ データは読み込まれるが、印刷はしない。

＜第 5 章 読み込みデータの管理＞の「印刷」機能 (p31) を使って、文例、写真、レイアウトを確認あるいは変更してから印刷することができます。

- ・「EG」⇒ データの読み込み自体を行わない（無視）。

- ・「BR」⇒ すぐ印刷せず、初期設定で選択されたレイアウトの＜指導せん改訂＞画面が表示し、内容を 確認、修正した後で印刷します。

＜初期設定＞画面で指定することもできます。p14 の⑤を参照してください。

- ・「PO」⇒ 初期設定でお薬手帳印刷「しない」になっていても、指導せんとお薬手帳を同時に印刷します。

- ・「OP」⇒ 初期設定のお薬手帳印刷の設定に関係なく、お薬手帳だけ印刷します。

- ・ハイリスク薬指導管理票、腎機能低下時の投与量チェックシート印刷も「患者フラグ」で設定できます。(p48 付録 5 参照)

### ＜不均等分割用法用の特別データフォーマット＞

読み込みデータの最初の「(1) 患者フラグ」を「QT」に変えると、以下のフォーマットのデータを読み込み、起床・朝・昼・夕・寝前欄に数値を印字することができるようになります。また、「1 回用量」欄、用法テキスト、調剤日数（回数）も、元データそのままに印字します（「→」は「Tab」または「,」（半角）、「↓」は「CR(+LF)」）。なお調剤日数は、数字のみの場合は自動的に「日分」が印刷されます。サンプルデータは、CD-ROM 内の「sample2.txt」、「sample5.txt」を参照してください。

() 内は最大バイト数です。身長から eGFR は空でも可。

QT→調剤日→受付番号→診療コード→患者 ID (10) →患者名 (28) →生年月日 (8) →性別→癌告知の有無  
→身長 (8) →体重 (8) →体表面積 (8) →SC r (8) →未補正 eGFR (8) →eGFR (8) ↓

DR→YJ コード→用量欄表記 (22) →起床欄用数字 (5) →朝欄用数字 (5) →昼欄用数字 (5) →  
夕欄用数字 (5) →寝前欄用数字→用法テキスト (44) →調剤日数↓

(DR から調剤日数まで、薬剤数に応じ繰り返し) ↓

ME→患者さんへ (120) ↓

DN→担当者名 (20) ↓

PD→処方医名 (20) ↓

特記

◎ 読み込みデータ「(1) 患者フラグ」の設定 (p48 付録 5 参照) :

#### ＜QT フォーマット＞

- ・「SP」⇒ 印刷しない
- ・「FG」⇒ データ無視
- ・「CR」⇒ 印刷前に表示する
- ・「QO」⇒ 初期設定でお薬手帳印刷「しない」になっていても、指導せんとお薬手帳を同時に印刷します。「OQ」の場合、お薬手帳のみ印刷します。

#### ＜RT フォーマット＞

「診療コード」の代わりに「診療科名」をテキストのまま読み込ませて印字させることができます。

- ・「TP」⇒ 印刷しない
- ・「GG」⇒ データ無視
- ・「ER」⇒ 印刷前に表示する
- ・「RO」⇒ 初期設定でお薬手帳印刷「しない」になっていても、指導せんとお薬手帳を同時に印刷します。「OR」の場合、お薬手帳のみ印刷します。

※「用法コード」は、分類によって服薬指導せんの 1 日用量欄、処方日数欄に特別な印字ができるように設定されていますので、施設内コードを登録される場合はご注意ください（初期設定は、p43 付録 3 <用法コード初期設定一覧>、p47 付録 4 <用法コードと印字の関係>を、ユーザー登録は p18 を参照してください）。

※「薬価コード」は、厚生労働省が告示している「薬価基準収載コード」(告示コード。12 桁の英数字)をベースに、株式会社じほうが独自のコードを加えた「個別 12 桁コード」(YJ コード)を使用する必要があります。(株) 医薬情報研究所のホームページにて薬価コードを調べることができます。

下記 URL にてご確認ください。

<http://www.iyaku.info>

## 6.2 注射薬読み込みデータフォーマット

本システムが読み込むことのできる処方データは、テキスト形式（CSV）で、内容は以下の通りです。

フィールド名	最大 byte 数	説明
(1) 患者フラグ	2	「ST」が基本。患者データが始まることのフラグ。（p48 付録 5 参照）
(2) 入力日	8	YYYYMMDD（半角）。
(3) 処方 No.	12	テキスト。空でも可。
(4) 診療科	24	コードまたはテキスト（p41 の 5）参照）。空でも可。
(5) 病室	16	テキスト。空でも可。
(6) 主治医	16	テキスト。空でも可。
(7) 患者 ID	10	半角数字。空でも可。
(8) 患者名	28	テキスト。
(9) 生年月日	8	YYYYMMDD（半角）。
(10) 性別	1	男は「M」、女は「F」。空の場合は「F」とみなす。
(11) 癌告知の有無	1	癌告知なしは「0」、ありは「1」。空は「0」とみなす。
CR+LF		
*以下（12）～（26）および CR(+LF) は、処方薬剤数分の繰り返し。		
(12) 薬剤フラグ	2	「DR」が常に入る。薬剤データが始まることのフラグ。
(13) Rp 番号	2	半角数字。1 桁の場合は頭に「0」を付ける。※
(14) メインフラグ	1	「*」（半角）または空。同じ Rp 番号内に 1 つのみ。
(15) YJ コード	12	半角英字数字。
(16) 用量	5	半角数字。小数点可。
(17) 単位	2	テキスト。
(18) ルート	24	テキスト。
(19) 投与法	28	テキスト。
(20) 回数	4	テキスト。（例：× 2）
(21) 投与時間	50	複数の場合は「/」（半角）つなぎ。
(22) 開始日	8	YYYYMMDD（半角）。
(23) 投与期間	2	半角数字。1 桁の場合は頭に「0」を付ける。
(24) 投与日	65	YYYYMMDD（半角）。複数の場合は「/」（半角）つなぎ。
(25) 投与速度	10	テキスト。
(26) コメント	50	テキスト。
CR+LF		
(27) メモフラグ	2	「ME」が常に入る。「患者さんへ」が始まるフラグ。
(28) 患者さんへ	120	テキスト。空の場合は＜初期設定＞文章を印字。
CR+LF		

※ Rp 番号「00」は流さないでください。



◎ 患者フラグのオプション（p48 付録 5 参照）：

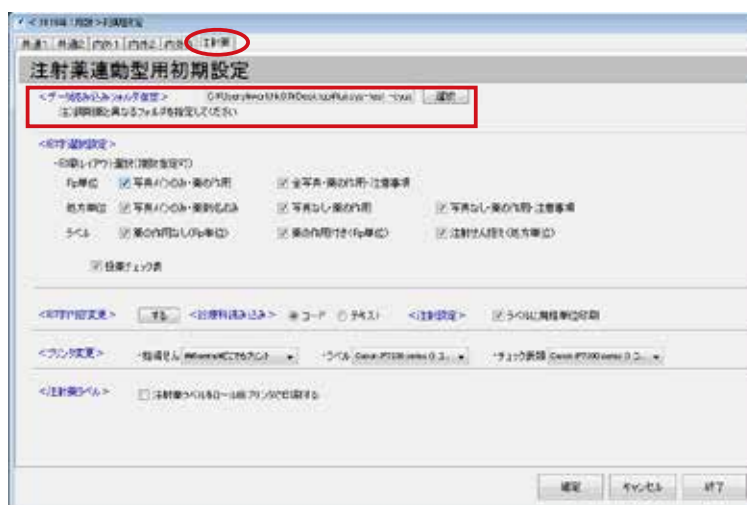
（1）患者フラグを変更することで、取り込み動作を変更することができます。ST＝そのまま印刷、UP＝データ取り込み＆印刷しない、HG＝データ無視、FR＝印刷前に＜注射薬一覧＞画面を表示。

◎ サンプルデータ：

CD-ROM 内に注射薬読み込みデータフォーマットのサンプル「sample3.txt」がありますので、ご参照ください。

### 6.3 注射薬初期設定

- 1) <メインメニュー>で「初期設定」ボタンを押します。「注射薬」を選択して<注射薬連動型用初期設定>画面を表示させます。



- 2) <データ読み込み先フォルダ指定>の「選択」ボタンを押して「フォルダ参照」画面を表示させ、フォルダを指定して「開く」ボタンを押します。調剤薬の指導せんも発行している場合は、必ず別のフォルダを指定してください（データフォーマットが異なるため、エラーの原因になります）。また、CD-ROM ドライブ内のフォルダや本システムの「Fus\_YYMM」フォルダは絶対に指定しないでください。
- 3) <印字選択設定>で、印刷レイアウトを選択します。複数レイアウトを同時に印刷できます。
- 4) <印字内容変更>で、注射薬指導せんの「頭書き」と「患者さんへ」を確認してください。「頭書き」は全角 48 字、「患者さんへ」は全角 100 字以内で、変更登録が可能です。
- 5) <初期設定>画面 [共通 1] の<診療コード変更>で、診療コードの変更・追加登録が可能です（p16 参照）。また、「診療科読み込み」を「テキスト」にすることで、コード体系を使わず、診療科名を元データテキストのまま印刷することもできます。（※内服薬と共通）
- 6) <プリンタ変更>で、表示されているプリンタドライバ名を変更することにより、注射薬指導せん（カラー写真データあり）、ラベル印刷、チェック表類（モノクロ印刷用）で、それぞれ別のプリンタを予め設定することができます。
- 7) <注射ラベル>で、チェックを入れると、ラベル（薬の作用なし、薬の作用付き）の印刷が A4 版ではなく、ロール紙（印字幅 8cm）対応になります。

※「ラベル印刷」のレイアウトを 2019 年 1 月版より変更しました。

「ファイル」メニューより、ラベルの印刷レイアウトを旧仕様に戻すことができます。

#### 特記

◎ 薬剤情報の管理、読み込みデータの管理：

基本的に内服薬の手順と同じです。p23～p32 を参照してください。

◎ 併用禁忌について：

併用禁忌チェック機能はありません。

【注射薬指導せん印刷見本】

じほう 太郎 様のお薬のご案内		病室: 外304	1/1
いつもと違う症状に気が付いたときは、医師、看護師、薬剤師にお伝えください。			
ID 123-567	72 歳 4 ヶ月 男性	処方医: 注射 太郎	
処方No. 455	投薬開始日 2019年01月07日	1本目 投与時間 10:00/17:00	
●メイン ○サイド			
全体の注意事項			
			
アミノトリ/α2号輸液 / アミノ酸・糖・電解質(2-2)キット 800mL1キット			
食事から栄養が十分とれない時に、カロリーと電解質、アミノ酸を補う注射薬です。			
ミネラルリン注 / 塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤注射液(1) 2mL1管			
食事が不十分又は摂れなくて高カロリー栄養を点滴する際に不足する亜鉛、鉄、銅、マンガ、ヨウ素を補給する注射薬です。			
ゼンタック注射液50mg / ラニチジン塩酸注射液 2.5%2mL1管			
胃酸やペプシンの分泌を抑え、消化性潰瘍、ストレス潰瘍の改善や、胃・十二指腸の出血を止める注射薬です。			
製になることがありましたら、速達なくご連絡ください。 〆お大事に。			
じほう総合病院 〒123-4567 東京都千代田区〇〇1-1 TEL: 03-3265-XXXX 薬剤師			

図 6-1 Rp 単位 写真メインのみ・薬の作用

じほう 太郎 様のお薬のご案内		病室: 外304	1/1
ID 123-567 72 歳 4 ヶ月 男性 入カ日 2019年12月17日		診療科: 外科	処方医: 注射 太郎
1本目		2本目	
投与時間	10:00/17:00	08:00/20:00	
開始日	2019年01月07日	2019年01月07日	
投薬写真			
アミノトリ/α2号輸液 ミネラルリン注 ゼンタック注射液50mg		パンスボリン静注用1g バッグS	
薬剤名			
患者さんへ			
じほう総合病院			

図 6-2 処方単位 写真メインのみ・薬剤名のみ

【注射薬ラベル印刷見本】

P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 Rp 1-(1) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg		P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月9日 10:00 1袋 1A	P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月9日 17:00 1袋 1A
1/1 60mL/hr、速光投与		1/1 60mL/hr、速光投与	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 10:00 Rp 1-(1) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg		P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月9日 17:00 1袋 1A	P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月9日 17:00 1袋 1A
1/1 60mL/hr、速光投与		1/1 60mL/hr、速光投与	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 17:00 Rp 1-(2) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg		P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 08:00 Rp 2-(1) 1W側管・点滴 A パンスボリン静注用1gバッグ	P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 08:00 1袋 1A
1/1 60mL/hr、速光投与		1/1 30分かけて	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月8日 10:00 Rp 1-(1) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg		P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 20:00 Rp 2-(2) 1W側管・点滴 A パンスボリン静注用1gバッグ	P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月8日 17:00 Rp 1-(2) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg
1/1 60mL/hr、速光投与		1/1 30分かけて	

図 6-3 薬の作用なし

P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 10:00 Rp 1-(1) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg		P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月8日 10:00 Rp 1-(1) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg	
1/1 60mL/hr、速光投与		1/1 60mL/hr、速光投与	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 17:00 Rp 1-(2) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg		P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月8日 17:00 Rp 1-(2) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 B ミネラルリン注 C ゼンタック注射液50mg	
1/1 60mL/hr、速光投与		1/1 60mL/hr、速光投与	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 20:00 Rp 2-(1) 1W側管・点滴 A パンスボリン静注用1gバッグ		P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月8日 20:00 Rp 2-(2) 1W側管・点滴 A パンスボリン静注用1gバッグ	
1/1 60mL/hr、速光投与		1/1 30分かけて	

図 6-4 薬の作用付き

ID 123-567 じほう 太郎 P304 外科 男 72歳4 か月 発行日 2018/12/17 処方No. 455 処方医 注射 太郎	
Rp1-1/1~1/9 1Wメイン・点滴持続 1袋 A アミノトリ/α2号輸液 1A B ミネラルリン注 1A C ゼンタック注射液50mg 1A	
減光投与 (10:00/17:00) ×2 Rp2-1/1~1/7 1W側管・点滴 1袋 パンスボリン静注用1gバッグS 1A 30分かけて (08:00/20:00) ×2	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 Rp 1-(1) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 1袋 B ミネラルリン注 1A C ゼンタック注射液50mg 1A	
1/1 60mL/hr、速光投与	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月7日 17:00 Rp 1-(2) 1Wメイン・点滴持続 A アミノトリ/α2号輸液 1袋 B ミネラルリン注 1A C ゼンタック注射液50mg 1A	
1/1 60mL/hr、速光投与	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月8日 10:00 Rp 1-(1) 1Wメイン・点滴持続 1袋 A アミノトリ/α2号輸液 1A B ミネラルリン注 1A C ゼンタック注射液50mg 1A	
1/1 60mL/hr、速光投与	
P304 ID 123-567 じほう 太郎 様 1月8日 17:00 Rp 1-(2) 1Wメイン・点滴持続 1袋 A アミノトリ/α2号輸液 1A B ミネラルリン注 1A C ゼンタック注射液50mg 1A	
1/1 60mL/hr、速光投与	

図 6-5 注射せん控え

図 6-6 薬の作用なし(ロール紙)

## <付録1 診療コード初期設定一覧>

診療コード	診療名				
00101	内科	00128	小児外科	64210	ペインクリニック
00102	心療内科	00129	皮膚泌尿器科	64211	移植外科
00103	精神科	00130	性病科	64212	消化器外科
00104	神経科	00131	肛門科	64213	腎臓内科
00105	呼吸器科	00132	産婦人科	64214	糖尿病科
00106	消化器科	00133	眼科	64215	内分泌代謝科
00107	循環器科	00134	耳鼻咽喉科	64216	麻酔科
00108	アレルギー科	00135	気管食道科	64217	免疫血液内科
00109	リウマチ科	00136	リハビリテーション科	64218	循環器内科
00110	小児科			64219	消化器内科
00111	神経内科	00137	放射線科		
00112	胃腸科	00138	皮膚科		(64210～64219はCD収録条件別指導文利用時のみ)
00121	外科	00139	泌尿器科		
00122	整形外科	00140	産科		
00123	形成外科	00141	婦人科		
00124	美容外科	00151	歯科		
00125	脳神経外科	00152	矯正歯科		
00126	呼吸器外科	00153	小児歯科		
00127	心臓血管外科	00154	歯科口腔外科		

## <付録2 剤形コード初期設定一覧>

剤形コード	指導せんの印字	コ	個
T	錠	マイ	枚
CP	カプセル	cc	cc
G	g	V	バイアル
mg	mg	A	アンプル
ML	ml	B	ボトル
杓	包		

## <付録3 用法コード初期設定一覧>

コード	用法テキスト	
頓服		
001	医師の指示通り	010 吐気がする時
002	痛い時	011 吐気が強い時
003	痛い時1日3回まで	012 嘔吐した時
004	発熱時	013 腹痛の時
005	発熱時1日3回まで	014 頭痛時
006	38℃以上の発熱時	015 胸が痛い時
007	発熱時または痛い時	016 心臓の発作時
008	下痢の時	017 ケイレンした時
009	便秘の時	018 不安・イライラする時
		019 不穏時
		020 出血した時

021	かゆい時	205	1 日 2 回起床時、朝食直後
022	眠れない時	206	1 日 2 回起床時、朝食中
023	尿が出ない時	207	1 日 2 回起床時、昼食直前
024	頻尿時	208	1 日 2 回起床時、昼食前
025	血尿の時	209	1 日 2 回起床時、昼食後
026	呼吸が苦しい時	210	1 日 2 回起床時、昼～夕食間
027	針・薬投与 30 分前	211	1 日 2 回起床時、昼食直後
028	咳がでる時	212	1 日 2 回起床時、昼食中
029	痰がでる時	213	1 日 2 回起床時、夕食直前
030	血圧 180 以上の時	214	1 日 2 回起床時、夕食前
031	舌下で服用	215	1 日 2 回起床時、夕食後
032	うがい用	216	1 日 2 回起床時、夕～眠前食間
033	喘息の発作時	217	1 日 2 回起床時、夕食直後
034	食事できない時	218	1 日 2 回起床時、夕食中
035	動悸時	219	1 日 2 回眠前、朝食直前
036	歯痛時	220	1 日 2 回眠前、朝食前
037	麻酔が切れて痛い時	221	1 日 2 回眠前、朝食後
1 日 1 回		222	1 日 2 回眠前、朝食直後
101	1 日 1 回起床時	223	1 日 2 回眠前、朝食中
102	1 日 1 回朝食直前	224	1 日 2 回眠前、昼食直前
103	1 日 1 回朝食前	225	1 日 2 回眠前、昼食前
104	1 日 1 回朝食後	226	1 日 2 回眠前、昼食後
105	1 日 1 回朝～昼食間	227	1 日 2 回眠前、昼食直後
106	1 日 1 回朝食直後	228	1 日 2 回眠前、昼食中
107	1 日 1 回朝食中	229	1 日 2 回眠前、夕食直前
108	1 日 1 回昼食直前	230	1 日 2 回眠前、夕食前
109	1 日 1 回昼食前	231	1 日 2 回眠前、夕食後
110	1 日 1 回昼食後	232	1 日 2 回眠前、夕食直後
111	1 日 1 回昼～夕食間	233	1 日 2 回眠前、夕食中
112	1 日 1 回昼食直後	234	1 日 2 回朝、昼食直前
113	1 日 1 回昼食中	235	1 日 2 回朝、昼食前
114	1 日 1 回夕食直前	236	1 日 2 回朝、昼食後
115	1 日 1 回夕食前	237	1 日 2 回朝～昼、昼～夕食間
116	1 日 1 回夕食後	238	1 日 2 回朝、昼食直後
117	1 日 1 回夕～眠前食間	239	1 日 2 回朝、昼食中
118	1 日 1 回夕食直後	240	1 日 2 回昼、夕食直前
119	1 日 1 回夕食中	241	1 日 2 回昼、夕食前
120	1 日 1 回眠前	242	1 日 2 回昼、夕食後
121	1 日 1 回	243	1 日 2 回昼～夕、夕～眠前食間
122	1 日 1 回 24 時間おき	244	1 日 2 回昼、夕食直後
1 日 2 回		245	1 日 2 回昼、夕食中
201	1 日 2 回起床時、朝食直前	246	1 日 2 回朝、夕食直前
202	1 日 2 回起床時、朝食前	247	1 日 2 回朝、夕食前
203	1 日 2 回起床時、朝食後	248	1 日 2 回朝、夕食後
204	1 日 2 回起床時、朝～昼食間	249	1 日 2 回朝～昼、夕～眠前食間



250 1日2回朝、夕食直後

251 1日2回朝、夕食中

252 1日2回起床時、眠前

253 1日2回

254 1日2回12時間おき

#### 1日3回

301 1日3回起床時、朝昼食直前

302 1日3回起床時、朝昼食前

303 1日3回起床時、朝昼食後

304 1日3回朝～昼、昼～夕、夕～眠前食間

305 1日3回起床時、朝昼食直後

306 1日3回起床時、朝昼食中

307 1日3回起床時、朝夕食直前

308 1日3回起床時、朝夕食前

309 1日3回起床時、朝夕食後

310 1日3回起床時、朝夕食直後

311 1日3回起床時、朝夕食中

312 1日3回起床時、昼夕食直前

313 1日3回起床時、昼夕食前

314 1日3回起床時、昼夕食後

315 1日3回起床時、昼夕食直後

316 1日3回起床時、昼夕食中

317 1日3回眠前、朝昼食直前

318 1日3回眠前、朝昼食前

319 1日3回眠前、朝昼食後

320 1日3回眠前、朝昼食直後

321 1日3回眠前、朝昼食中

322 1日3回眠前、朝夕食直前

323 1日3回眠前、朝夕食前

324 1日3回眠前、朝夕食後

325 1日3回眠前、朝夕食直後

326 1日3回眠前、朝夕食中

327 1日3回眠前、昼夕食直前

328 1日3回眠前、昼夕食前

329 1日3回眠前、昼夕食後

330 1日3回眠前、昼夕食直後

331 1日3回眠前、昼夕食中

332 1日3回朝昼夕食直前

333 1日3回朝昼夕食前

334 1日3回朝昼夕食後

335 1日3回朝昼夕食直後

336 1日3回朝昼夕食中

337 1日3回起床時、朝～昼/昼～夕食間

338 1日3回起床時、朝～昼/夕～眠前食間

339 1日3回起床時、昼～夕/夕～眠前食間

340 1日3回眠前、朝～昼/昼～夕食間

341 1日3回眠前、朝～昼/夕～眠前食間

342 1日3回眠前、昼～夕/夕～眠前食間

343 1日3回

344 1日3回8時間おき

#### 1日4回

401 1日4回起床時、朝昼夕食直前

402 1日4回起床時、朝昼夕食前

403 1日4回起床時、朝昼夕食後

404 1日4回起床時、朝昼夕食直後

405 1日4回起床時、朝昼夕食中

406 1日4回起床時、朝～昼、昼～夕、夕～眠前食間

407 1日4回眠前、朝昼夕食直前

408 1日4回眠前、朝昼夕食前

409 1日4回眠前、朝昼夕食後

410 1日4回眠前、朝昼夕食直後

411 1日4回眠前、朝昼夕食中

412 1日4回

413 1日4回6時間おき

#### 1日5回

501 1日5回起床時、朝昼夕食直前、眠前

502 1日5回起床時、朝昼夕食前、眠前

503 1日5回起床時、朝昼夕食後、眠前

504 1日5回起床時、朝昼夕食直後、眠前

505 1日5回起床時、朝昼夕食中、眠前

506 1日5回

507 1日5回5時間おき

#### 1日6回

601 1日6回

602 1日6回4時間おき

#### 1日7回

701 1日7回

#### 1日8回

801 1日8回

802 1日8回3時間おき

#### 1日9回

901 1日9回

#### 内服その他

A01 1日1回 医師の指示通り

A02 1日2回 医師の指示通り

A03 1日3回 医師の指示通り

A04 1日4回 医師の指示通り

A05 1日5回 医師の指示通り

A10 1日10回

A11 1日11回

A12 1日12回  
A13 1日13回  
A14 1日14回  
A15 1日15回

#### 外用全量

B01 医師の指示通り  
B02 口内炎に使用  
B03 鼻炎に使用  
B04 うがい用  
B05 清拭用  
B06 洗浄用  
B07 散布すること  
B08 のどが痛い時  
B09 1日1回寝る前  
B10 1回1滴  
B11 1回2滴  
B12 1日1回  
B13 1日2回  
B14 1日3回  
B15 1日4回  
B16 1日5回  
B17 1日6回  
B18 胸痛時  
B19 発作時  
B20 鼻づまりの時  
B21 体温に暖めて使用  
B22 痛い時  
B23 かゆい時  
B24 厚く塗って下さい。  
B25 薄く塗って下さい。  
B26 入浴後に塗布  
B27 心臓の発作時  
B28 口が渴いた時  
B29 寝る前に挿入  
B30 1回1吸入  
B31 1回2吸入  
B32 1日4回まで  
B33 喘息の発作時  
B34 吸入薬使用後にうがいして下さい。  
B35 肛門内に注入  
B36 便秘の時  
B37 カテーテル潤滑消毒用  
B38 器具を使用する時  
B39 浣腸の時  
B40 痛い時1日3回まで

B41 発熱時  
B42 発熱時1日3回まで  
B43 38℃以上の発熱時  
B44 下痢の時  
B45 吐気がする時  
B46 吐気が強い時  
B47 嘔吐した時  
B48 腹痛の時  
B49 眠れない時  
B50 出血した時  
B51 1回1錠を1日1回  
B52 1回1錠を1日2回  
B53 1回1錠を1日3回  
B54 1回1錠を1日4回  
B55 1回1錠を1日5回  
B56 1回1錠を1日6回  
B57 毎日または隔日に少量ずつ塗布  
B58 適量を1日1～数回塗布  
B59 適量を1日数回塗布  
B60 1日数回

#### 外用1日量

C01 1日1回医師の指示通り  
C02 1日2回医師の指示通り  
C03 1日3回医師の指示通り  
C04 1日4回医師の指示通り  
C05 1日5回医師の指示通り  
C06 1日6回医師の指示通り  
C07 1日7回医師の指示通り  
C08 1日8回医師の指示通り  
C09 1日9回医師の指示通り  
C10 1日10回医師の指示通り

#### 外用頓用

D01 医師の指示通り  
D02 口内炎に使用  
D03 鼻炎に使用  
D04 うがい用  
D05 清拭用  
D06 洗浄用  
D07 散布すること  
D08 のどが痛い時  
D09 1日1回寝る前  
D10 1回1滴  
D11 1回2滴  
D12 1日1回  
D13 1日2回

D14	1日3回	D33	喘息の発作時
D15	1日4回	D34	吸入薬使用後にうがいして下さい。
D16	1日5回	D35	肛門内に注入
D17	1日6回	D36	便秘の時
D18	胸痛時	D37	カテーテル潤滑消毒用
D19	発作時	D38	器具を使用する時
D20	鼻づまりの時	D39	浣腸の時
D21	体温に暖めて使用	D40	痛い時1日3回まで
D22	痛い時	D41	発熱時
D23	かゆい時	D42	発熱時1日3回まで
D24	厚く塗って下さい。	D43	38℃以上の発熱時
D25	薄く塗って下さい。	D44	下痢の時
D26	入浴後に塗布	D45	吐気がする時
D27	心臓の発作時	D46	吐気が強い時
D28	口が渴いた時	D47	嘔吐した時
D29	寝る前に挿入	D48	腹痛の時
D30	1回1吸入	D49	眠れない時
D31	1回2吸入	D50	出血した時
D32	1日4回まで	在宅自己注射	
		Z01	医師の指示通り

## <付録4 用法コードと印字の関係>

読み込みデータ（1日用量データ＝m 処方日数データ＝n）

分類	用法コード (No.)	用量欄印字	処方日数欄印字
頓服	001～099	1回 m @	n 回分
1日1回	101～199	1回 m @	n 日分
1日2回	201～299	1回 m/2 @	n 日分
1日3回	301～399	1回 m/3 @	n 日分
1日4回	401～499	1回 m/4 @	n 日分
1日5回	501～599	1回 m/5 @	n 日分
1日6回	601～699	1回 m/6 @	n 日分
1日7回	701～799	1回 m/7 @	n 日分
1日8回	801～899	1回 m/8 @	n 日分
1日9回	901～999	1回 m/9 @	n 日分
内服その他	A01～A99	1回 m/1 @～m/99 @	n 日分
外用全量	B01～B99	*m @	n 日分
外用1日量	C01～C99	1回 m/1 @～m/99 @	n 日分
外用頓用	D01～D99	1回 m @	n 回分
在宅自己注射	Z01～Z99	1回 m @	n 日分
全量日数なし	E01～E99	*m @	印字せず
その他日数あり	V01～V99	印字せず	n 日分
その他回数あり	W01～W99	印字せず	n 回分
その他日数なし	X01～X99	印字せず	印字せず

注) @は剤形コードによって決まる印字剤形名／＊は「1回量」を印字しない。

## <付録5 患者フラグと印刷の関係>

<内服・外用薬処方データの患者フラグ>

	均等用法	不均等用法	
		診療コード	診療科名テキスト
患者フラグ（基本）	PT	QT	RT
お薬手帳強制／同時印刷	PO	QO	RO
データ読み込み後、印刷しない	NP	SP	TP
印刷前に画面表示	BR	CR	ER
データ無視（読み込みも印刷もしない）	EG	FG	GG
お薬手帳のみ印刷	OP	OQ	OR
ハイリスク薬指導管理票強制／同時印刷	PH	QH	RH
腎機能低下時の投与量チェックシート強制／同時印刷	PG	QG	RG
ハイリスク薬指導管理票、腎機能低下時の投与量チェックシート強制／同時印刷	PF	QF	RF
ハイリスク薬指導管理票のみ印刷	HP	HQ	HR
腎機能低下時の投与量チェックシートのみ印刷	GP	GQ	GR

<注射薬処方データの患者フラグ>

患者フラグ（基本）	ST
お薬手帳強制／同時印刷	-
データ読み込み後、印刷しない	UP
印刷前に画面表示	FR
データ無視（読み込みも印刷もしない）	HG

## <付録6 ショートカットコマンド一覧>

機能	Windows
初期設定画面へ	Ctrl + G
薬剤検索画面へ	Ctrl + Y
患者検索画面へ	Ctrl + K
検索実行	Ctrl + F
戻る	Ctrl + R
印刷	Ctrl + P
終了	Ctrl + Q
薬剤入力	Ctrl + E
レイアウト変更	Ctrl + L